

本部だより

●第10号



マーシャル方面遺族会



第41回マーシャル方面遺族会慰霊祭（平成16年4月3日撮影）

平成16年度 慰霊祭・総会・直会

平成十六年度の慰霊祭は、四月三日（土）午前十時より、今を盛りと咲き誇る桜の中で厳かに行われました。

この季節は雨、風の日も多く心配しておりましたが、幸い暖かい穏やかな晴天に恵まれました。靖國神社境内には花見の人々も多く、大変な賑わいでした。

今年は靖國神社ご創立百三十年記念事業の一つとして、祭儀所、参集所の改修工事に入っており、従来の参集所が使用できないため、参加者は例年通りの本会受付で出席者名簿と照合確認後、本殿の脇に設けられた仮参集所に入りました。

仮参集所は狭いので相当な混雑が予想されましたが、神社側のご配慮で下駄箱も別に設けて戴いた所を使用することで思ったほどの混雑もなく、定例の十時になると神官の誘導で手水を使い拝殿で昇殿参拝の説明を聞いてお祓いを受けて本殿へ向かいました。

神官の神殿供物を供えてより神主の祝詞が始まり、続いて黒川誠会長の祭文奏上、そのあと指名された玉串奉奠者会長以下八名（福島県・富田キミ／埼玉県・小野博孝・橋本強・西勝章雄／東京都・蓮沼常子・星野綾子／神奈川県・岩瀬三樹三郎）に習って一同二礼二拍手一札の作法に従い参拝をし、そのあと神官の返礼の挨拶があつて退下、今年の慰霊祭は滞りなく終了しました。

■慰霊祭参列者芳名

今年の慰霊祭出席者は、会長以下百十一名の皆様でした。受付にてお受けした方々です（敬称略・順不同）

岩手県 佐藤亨三 佐藤英和 佐藤俊和 佐藤はつ美 福島県 富田ミツ富田キミ 鈴木ヨシエ 鶴沼久義 茨城県 大部美智子 鈴木多賀雄 遠藤

安雄 北条勝成 神永栄子 栃木県 猪瀬ナカ 猪瀬康夫 菊池彦巨 埼玉 井沢なお 小田原利子 小野博孝 小野トキ子 北原ひで子 橋本強 鈴木裕子 高林芳夫 佐藤知子 西勝章雄 藤田羊一 林良子 豊田静子 柴田貞子 柴田世志 千葉県 芳賀タツエ 芳賀順子 岩佐とみ 腰川妙子 菅沼昇 川端英夫 川端トキエ 吉田操 東京都 会田くに 荒木常子 石谷典夫 黒川誠 佐竹エス 斎藤美美 鈴木やよひ 高橋鎮夫 佃喜美 谷梯初江 谷梯真須江 西田恒子 蓮沼常子 蓮沼一栄 番場信子 晝間楽平 晝間志津子 間々田邦子 間々田照夫 間々田知恵子 石塚文子 水野薫 松尾正輝 石井健蔵 山口良二 山口裕子 山田二美 星野綾子 若狭久男 神奈川県 岩瀬三樹三郎 岩瀬純子 佐藤隆一 佐藤章子 平井貢 森井静子 柳沢弘子 安威孝司 安威和子 安威昭吾 新潟県 山田麻衣子 長野

県 油井芳枝 油井篤 岐阜県 吉田明 堀尾洋平 堀尾英夫 奈良県 山中美子 栗山美子 福岡県 平田郁子 石松順子 山口県 櫛崎馨 香川県 真鍋信一 真鍋公代 真鍋正美 石川正興 石川妙子 金森佳子 松原勇爾 松原敦子 松原愛鉦 土田真治 土田理恵 愛媛県 渡部守 渡部信子 渡部由典 会友 兵頭義彦

■定期総会

好天のためもあつてか、万事が順序良く行われたため予定時間より早め早めに終了し、靖国会館の前庭で十一時、一同揃って記念写真を撮り、定期総会はその後同館二階（田安・玉垣の間）において十一時半より行われました。

■式次第

一、開会の辞 晝間副会長

二、会長挨拶 黒川会長

天候に恵まれ、順調に式も捗り皆様ご苦労さまでした。皆様もそれぞれ高齢になれましたが、昨年本会として永代神楽祭に申し込みを致し、昨年七月十五日には役員他会員有志の方々の参加で第一回の神楽祭を催行致し、詳細は本誌九号に掲載されており、今後は毎年行われますので皆様もご安心のことと存じます。

その折、神官より参集所改修に際し屋根瓦寄進のお話がありました。本会としても今年は六十年の節目にも当たるので、会としての瓦の寄贈を考えています。本会としての戦没者は三万五千余柱となりますので、その数に因んで三十五万円を奉納するつもりですが、皆さんのご賛同はいかがでしょうか。(一同拍手)。

ご賛同により会の記念として奉納を進めるように致します。

三、会計報告 晝間副会長

支出の部で慰霊祭の金額が多くなっているのは、欄外に記載のある通り、昨年本会として奉納した錦旗の代金七十九万八千円を含んでいるものであります。

四、国内慰霊祭行事発表 荒木常子

① 千鳥ヶ淵墓苑拝礼式 (五月下旬)

② 本会の永代神楽祭命日祭(七月十日午後二時より) 靖國神社みたま

祭期間中につき今年は二時より斎行となります。

●参加希望者は六月末日までに本部にご連絡下さい。なお、参加者は当日一時位までに永代神楽祭入口まで到着のこと。

●九段会館の宿泊は予約不可のためできません。

③ 全国戦没者追悼式(八月十五日)

④ 東京都戦没者追悼式(八月十五日)

⑤ 東京都南方地域戦没者追悼式(十月下旬・沖繩) 申込みが九月初め頃

あります。希望者は本部にお申込み下さい。案内書をお送り致します。

五、現地慰霊巡拝の案内

今年十月三日からの予定で、目下

申込みが三十名程あります。旅行期間は六泊から七泊、費用は約二十六万から二十七万円程度。宿泊予定地はクエゼリンロッジとしていますが、人数の関係で目下調査中。

参加希望者は本部、または小田急トラベルサービスまで直接申込み下さい。

■直会(なおりい)

定期総会終了後、十二時同室に配膳して直会に移りました。参加者四十名は山口裕子さんの乾杯の発声で和やかな中に

歓談、会食を楽しみ、午後三時に全予定を無事終了し、皆さん境内の桜を楽しみつつ、お帰り戴きました。(荒木當子)

■参集所銅板瓦奉納について

靖國神社は創立百三十年記念事業として参集所祭儀所の改修工事を着工しております。

この屋根に使用する銅板瓦の奉納を考えました。毎年斎行する慰霊祭には今後とも参集所、祭儀所は利用させて戴くこととなります。三万五千余柱のご神霊を祭られている神社に、当会名で銅板瓦奉納金として三十五万円(英霊のみたま数に因んで)を考え、総会にはかりましたところ、全員一致で賛同を得られましたので奉納することになりました。

〈訃報〉

当会発足以来の会員であらせられた高林セキ様(89才、高林幹事のご母堂)におかれましては六月五日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

平成15年度会計報告書
マーシャル方面遺族会

自平成15年1月1日至平成15年12月31日

1.一般会計収支計算書

収入の部

科目	金額
前期繰越	964,873
寄付金	1,633,723
受取利息	2,007
雑収入	30,000
小計	1,665,730
合計	2,630,603

2.一般会計財産目録

平成15年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	75,312		
普通預金	633,630		
郵便振替	240,991		
		次期繰越	949,933
合計	949,933	合計	949,933

支出の部

科目	金額
慰霊費	1,061,915
広報費	306,170
通信費	92,875
事務用品費	8,484
会議費	150,766
振替手数料	24,240
公租公課	400
雑費	35,820
小計	1,680,670
次期繰越	949,933
合計	2,630,603

3.特別会計

収入の部		支出の部	
前期より繰越	9,000,000		
		次期繰越	9,000,000
合計	9,000,000	合計	9,000,000

※定期預金及び定額貯金として保管

会長 黒川 誠
会計担当 晝間 楽平

※慰霊費には錦旗奉納代金¥798,000を含みます

■寄付者ご芳名

平成十六年一月一日から四月九日までの間に次の会員、会友の皆様から慰霊奉賛のため浄財をご寄付戴きました。

合計壹百貳拾壹万参千七百五円也でした。厚く御礼申し上げます。今後とも何分のご協賛をお願い申し上げます。なお、右金額には慰霊祭に都合で欠席された方の玉串料および直会費を寄付扱いとさせて頂きました。

記

(敬称略・順不同)

大給湛子様以下二百七十五件です。

北海道 伊藤フジ 岩川あい 穂刈直 青森県 田中正治 松橋ミツエ 岩手県 小杉サヨ 菅原真起 佐藤亨三 橋本ミヨ

- | | |
|---|--|
| 山形県 大場広弥 宮城県 伊勢照男 相馬ツキ 松本孝子 佐藤勉 佐々木賢三 秋田県 大宮ツタ 福島県 鶴沼久義 大野博 富田ミツ 古市光男 三浦一郎 小野敏子 鈴木ヨシエ 根本さとみ 茨城県 大部美智子 北条晃 神永栄子 遠藤安雄 栃木県 猪瀬康夫 菊池彦巨 高橋克磨 吉川芳蔵 群馬県 清水宏一 珍田光子 埼玉県 井澤なを 小野博孝 片桐覚治 北原ひで子 近藤マスエ 柴田貞子 鈴木裕子 高林芳夫 富川艶子 小田原利子 佐藤知子 西勝章雄 橋本強 服部陽一 千葉県 宮崎実 川端英夫 石川きみ 泉水堯恵 岩佐とみ 腰川妙子 高山満喜男 津久井艶子 豊谷美恵子 廣原実 谷沢英子 菅沼昇 宮本博 相川孝夫 吉田操 東京都 会田くに 荒木常子 飯島祐宜 石谷典夫 岩浪邦江 内海静枝 大野清子 黒川誠 小泉文子 小島八重子 佐竹エス 高坂和靖 関谷シモ 田中猛 間々田征史 高橋鎮夫 佃喜美 中村順子 蓮沼常子 長谷川智子 晝間楽平 番場信子 水野貞二 山田二美 山口裕子 山森久江 大高時男 加藤照 斉藤美美 清水武 鈴木やよひ 谷梯初江 西田恒子 布川慶一 浜 | 田つき子 森田讓二 星野綾子 神奈川県 赤坂スズ 石沢洋子 石渡綾子 上田文子 榎本益明 岡野知津子 金子武晴 川名茂子 熊沢静子 栗田千代子 糇谷友孝 佐藤登志 渋谷良男 杉田絹江 岩瀬三樹三郎 服部純昌 平井加代子 森井静子 山村一郎 安威孝司 岩田とし子 平井貢 柳沢弘子 新潟県 石丸進 渋谷セキノ 高橋梅子 高林セキ 山田キヨエ 本保美恵子 富山県 池田淑子 棚橋昭二 廣上敏夫 広島富子 村梶光栄 石川県 森芳子 吉光澄子 村上一雄 永井武弘 山梨県 黒川正文 長野県 綾部はつえ 末松乙夫 岐阜県 吉田正明 堀尾洋平 静岡県 大畑幸夫 後藤幸雄 野崎昭二 服部くにえ 木野政雄 愛知県 岡島みね子 川越コウ 浜田芳枝 京都府 川本彦次 谷正文 東地井義訓 吉見美津治 大阪府 馬場富美子 大串静代 兵庫県 枝光剛郎 山形雅俊 奈良県 奥田義寛 和歌山県 福井栄子 鳥取県 井上照美 中浜ヒメコ 島根県 伊瀬忠夫 広島県 植田敏裕 浦手ハル 奥井礼子 佐々木千鶴子 藤本正山口県 道源陽子 吉永峯生 櫛崎馨 奈良県 山中美子 香川県 秋山百合子 秋 |
|---|--|

山武 石川正興 富田トシ子 石田藤美

愛媛県 伊藤梅子 泉田君子 長岡俊夫

渡部守 久保田泰子 馬場清 高知県 徳

弘萩子 野島貞人 柳村摩耶子 原一政

山本忠 福岡県 荻野千代子 下釜正義

平田郁子 村上清隆 吉松貞子 佐賀県

金子茂 草場寛 坂本トセ 山田雪子 長

崎県 安達美加栄 板浦重雄 中野フヂエ

前田フサ 森テル子 山下タエ 熊本県

植川二男 片山玲子 鬼海富夫 塚野ヨシ

子 村上佳寿子 宮崎県 森フサエ 鹿児島

島県 野平ヨネ 揚野サツエ 東キク 沖

縄県 宮城幸子 会友 石本利親 江藤圭

一 尾上一郎 久保末喜 吉良正義 郡正

典 豊谷秀光 兵頭義彦 堀口太平 山口

正雄

■郵便振替用紙による会員短信

小泉文江様 (東京都)

会長様、会員の皆様、どうぞお体ご大切に。

松木孝子様 (宮城)

出席したいのですが行けなくなり

ました。来年は頑張ります。

津久井艶子様 (千葉)

「本部だより」拝見しております。いろいろとありがとう存じます。

森フサエ様 (宮城)

老齢のためお参りもできません。少しですが寄付させて戴きます。

岩田とし子様 (神奈川)

いつもお世話様になります。慰霊祭を日曜日をお願い致します。

服部くにえ様 (静岡)

「環礁」ありがとうございます。二名出席させて戴きます。よろしく願い致します。

久保田泰子様 (愛媛)

毎年大変お世話様になっております。慰霊祭、総会に欠席致します。何かにご用立て下さいませ。

村梶光栄様 (富山)

ようやく北陸の天地にも春の日脚も

伸びるようになりホツとしております。

役員の方々には何かとお世話戴き

感謝致しております。毎年参加させて戴いておりましたが、年を重ねるにつ

き体調に自信が無く、欠席させて戴く

ことになりました。何とぞ今後ともよろしくお願い致します。当地にてお祈りしております。

岡野知津子様 (神奈川)

ご立派な錦旗ご奉納のお知らせ頂戴致しましてご一同様の温かいご配慮誠に有り難く早速ご仏壇に「環礁本部だより」をお供え致しました。心より感謝致しております。昨年十月主人正文永眠致しました。生前正文に賜りましたご厚情この折を借りまして深く御礼申し上げます。

その他数々の感謝の言葉、重ねて多くのご協力をお寄せ戴きましたこと、ご報告致します。

お詫び本誌九号「第一回永代神楽祭(命日

祭)参加者欄において、鈴木友季子様(神奈川県)のお名前がもれておりました。謹

んでお詫び申し上げます。

靖國神社の概要

靖國神社についてはいろいろな意見があり、新聞、テレビなどで論議されていますが、当の神社側では次の通り「概要」を示しております。印刷物から転載しましたので参考までにご覧下さい。

(靖國神社了解済)

靖國神社の起源と性格

靖國神社は、我が國が幕府政治体制から近代國家体制に大きく生まれ変わろうとする時に、不幸にして避けられなかった明治維新の内戦(戊辰戦争)において、國のために一命を捧げた人たちの靈を慰めようと、明治二年(一八六九年)六月、明治天皇が「東京招魂社」として現在の位置に建てられたのが起源で、同十二年(一八七九)には、「靖國神社」と改称されて今日に至っている御社です。

明治天皇が命名された、この「やすくに」という御社号には「國を平安(安の字は靖に通ずる字)にし、平和な國をつくり上げる」という御心がこめられ、祀られている神々も、

すべてこの天皇の御心のように、祖国永遠の平和とその栄光を願いつつ、日本民族を守るために掛け替えない尊い生命を國に捧げられた同胞たちで、これらの方々は、身分・職業・年令・性別等にかかわらず手厚く祀られています。

靖國神社に祀られている御祭神

明治二年(一八六九)六月に、戊辰戦争で戦死された三千五百余柱の方々をお祀りしたのを始めとし、その後起こった「佐賀の乱」・「西南戦争」・「日清戦争」・「日露戦争」・「第一次世界大戦」・「満州事変」・「支那事変」・「大東亜戦争」等の事変・戦争で戦死された方々、さらに嘉永六年(一八五三年、いわゆる黒船が浦賀沖に来航した年)以来明治改元までの十五年間の幕末多難時代に、「安政の大獄」や「禁門の変」等による犠牲者を始め、国事に尽くしてたおられた方々(吉田寅次郎(松陰)・橋本左内・坂本龍馬・高杉晋作・頼三樹三郎・真木和泉守・清川八郎・中岡慎太郎等々、歴史上に著名ないわゆる幕末の志士、並びに平田捨四郎・二位馬寿ら生後六ヶ月の無名の志士家

族ら数千柱の方々)をも明治二十年(一八八七)ごろから合せ祀り、現在の御祭神総数は、二百四十六萬六千余柱に及んでいます。

靖國神社というと戦死した軍人ばかりを祀っている神社のように思われがちですが、決してそうではなく、五萬七千余柱の女性の御祭神も含まれ、これらの中には、従軍看護婦を始め、主婦、小・中学校の児童・生徒、それに二歳にも満たぬ童女さえも含まれています。

一、二の具体例をあげますと、幕末時代のことですが、元治元年(一八六四)、常陸の國(現在の茨城県下)水戸藩で起こった事件で死没した田原彦三郎道綱という侍の妻多加(二十五歳)とその長女千代(十七歳)、二女喜代(二歳)は、連帯者として幕府の手に捕らえられ、獄中でたおれたため、明治二十四年に合祀されました。

また、沖繩で戦没した「ひめゆり」・「白梅」等の七女学校部隊の女生徒の方々、「対馬丸」で沖繩から鹿児島への学童疎開中、悲惨にも敵潜水艦によって撃沈されて、幼い生命を断たれた小学校女子児童たち、大東亜戦争終結直後の昭和二十年八月二十日、ソ連軍の不法侵攻を最後の最後まで内地に通話し続けて、ついに自決殉職された樺太(現在のサ

ハリン)真岡の女子電話交換手の方々も皆、昭和三十年代から四十年代にかけて合祀された女性祭神の方々たちです。

さらにまた、大東亜戦争終結時に責任を負って自決された方々、いわゆる戦争犯罪人として連合国側によって一方的に処刑された千余名の方々(当神社においては、これらの方々を「昭和殉難者」と呼称しています)、民間防空組織の責任者として敵機の空襲下に活躍中爆死された方々、学徒動員中に軍需工場等で爆死された学徒らも皆、御祭神としてお祀り申し上げております。

このように靖國神社には、戦場で戦死された軍人、軍属ばかりでなく、文官、民間の方、女性をも含めた多種多様の御祭神が祀られており、日本国民だれしもが崇敬し、奉賛するに相応しい御社なのです。

なお、御本殿に向かって左側回廊の外側に、元宮と鎮靈社という二つの小さな御社があつて、元宮とうのは、文久三年(一八六三)、幕末の国事にたおれた志士の霊を慰めようと、京都において少数の有志が幕府の目をはばかって、ひそかに建てた小祠が元で、改築等幾多の経過を経て七十年後の昭和六年、靖國神社に奉納され、招魂社の元をなすともい

うべきものとして、元宮と称して今日に至っております。

鎮靈社(昭和四十年七月創建)には、靖國神社に合祀されていない方々の御霊と、国籍を問わず、萬国の戦死者あるいは戦禍犠牲者の霊が祀られています。

右二社は、御本殿の神々と同様、日々宮司初め神社職員によって奉仕されています。

靖國神社で行われる祭典

神社として一番重要な祭典は、春秋の例大祭と合祀祭です。「春季例大祭」は、毎年四月二十一日から二十三日までの三日間、「秋季例大祭」は、十月十七日から二十日までの四日間わたって執り行われ、これらの祭典には勅使(天皇の御使者)が差しつかわされ、皇族方も親しくご参拝になります。また、神社ご創立以来、天皇・皇后両陛下のご参拝も度々行われ、明治時代に十一回、大正時代に五回、昭和になってからは実に五十四回の行幸啓をおおいでいます。

「みたま祭」は、昔から我々日本国民の多くが先祖の祭をする、いわゆる「お盆」にあたる七月十三日から十六日までの四日間執り

行われ、奉納された各界名士の揮毫ボンボリ、御遺族・戦友・崇敬者らから奉納された提灯が参道を埋めつくし、年間一番多くの参詣者をお迎えする夏祭ともいべきものです。

この外、神社としては、新年祭、建国記念祭、祈年祭、昭和祭、御創立記念日祭、明治祭、新嘗祭、天皇御誕辰奉祝祭、月次祭(毎月一日、十一日、二十一日)、さらに毎日の朝夕の御饌祭、永代神楽祭、御遺族・戦友による慰霊祭、昇殿参拝などをご奉仕申し上げ、永代神楽祭では、お申込みの御遺族などのご参列を願い、毎年永代にわたり御祭神のお名前を申し上げます、御神楽を奉奏して神霊をお慰めいたしております。

(靖國神社社務所)

●環礁・本部だより第10号●発行日：平成16年8月1日●発行人：黒川 誠

●マーシャル方面遺族会本部：〒142-0051東京都品川区平塚3-4-17・電話03-3783-8382

●ファックス03-3783-8384●振替：東京001000-0-93487